

GLORY REPORT

グローリーレポート



Contents

トップインタビュー	01
特集	03
海外トピックス	05
国内トピックス	07
セグメント別の状況	09
財務データ	11
会社情報	13
株主メモ	

特集

『2014中期経営計画』の改訂について

Page 03

海外トピックス

Talaris Topco Limited について

Page 05

第 **67** 期
中間報告書

平成24年4月1日から
平成24年9月30日まで

グローリー株式会社

“One GLORY”を合言葉に グローバル展開を加速してまいります



代表取締役社長

尾上 重和

Q1

平成25年3月期上半期の業績は
いかがでしたか。

**国内は遊技市場が好調、
海外市場は買収効果により好調で、
売上・利益とも前年同期に比べ増加**

当上半期の日本経済は、東日本大震災の復興需要等により回復傾向にあったものの、堅調であった個人消費に停滞感が見え始めたことや、欧州債務問題の長期化等による世界経済の減速を背景として、景気の先行きは

不透明な状況で推移いたしました。

こうした状況のなか、当社グループは、平成24年4月からの3ヶ年を計画期間とした『2014中期経営計画』の初年度として、“長期ビジョン達成に向けた成長戦略推進と収益力強化”を基本方針に、「事業戦略」、「機能戦略」、「企業戦略」の各戦略を展開してまいりました。セグメント別にみますと、国内市場につきましては、当社の主要市場である金融市場では、中小規模店舗向けのコンパクトタイプの「オープン出納システム」の販売が未導入であった金融機関へ広がるとともに、

平成25年3月期上半期の実績と通期の業績予想(連結)

()内数値は、前年同期(前期)比

	当上半期	通期(予想)	前期
売上高	788億75百万円(+17.3%)	1,850億円(+25.9%)	1,469億37百万円
営業利益	46億28百万円(+10.9%)	145億円(+28.6%)	112億74百万円
経常利益	45億42百万円(+ 3.4%)	135億円(+13.4%)	119億 8百万円
当期(四半期)純利益	22億88百万円(+ 2.7%)	75億円(+20.1%)	62億46百万円

「多能式紙幣両替機」の販売が更新需要を捉えて順調でした。しかし、従来タイプの「オープン出納システム」の販売は、更新需要の谷間にあり低調でした。流通・交通市場では、主要製品である「レジつり銭機」の販売は、大口需要があった昨年度に比べて減少いたしました。一方で、積極的な営業展開により、飲食店を始めとした導入率が低い市場への拡販が進みました。また、警備輸送会社向けの「売上入金金機」や「店舗入出金機」の販売は好調でした。遊技市場では、パチスロ人気の継続に伴い、「台間メダル貸機」を始めとするカードシステム等の販売が順調でした。また、各台でパチンコ玉を計数する「各台計数機」の販売も順調でした。

一方、海外市場につきましては、欧州ではOEM商品である「ATM用紙幣入金ユニット」、中国などアジアでは「紙幣入金整理機」の販売が好調でした。また、平成24年7月に英国の子会社であるGLORY Global Solutions Ltd. (以下、「GGS」)を通して英国Talaris Topco Limited (以下、「タラリス社」)の買収を完了し、当上半期より、GGS及びその子会社(以下、「GGSグループ」)が連結対象となったことにより、売上は大幅に増加いたしました。

以上の結果、当上半期の売上高は、788億75百万円(前年同期比17.3%増)と前年同期と比べ大幅な増加となり、利益につきましても、営業利益、経常利益、四半期純利益とも、増加いたしました。

Q2

タラリス社買収後の進捗について
お聞かせください。

早期のシナジー創出に向けて 海外事業の統合作業を推進

当社は、平成24年2月にタラリス社の買収を決議し、関係各国の規制法令上の認可等の審査を経て、7月に同社の買収を完了いたしました。買収完了後は、統合委員会や統合プロジェクトチームを発足させ、海外事業の統合とシナジー創出に向けて取り組んでおります。“One GLORY”を合言葉に、グローリーグループが一体となり、グローバル展開を加速してまいります。また、本年4月にスタートさせた『2014中期経営計画』につきましても、GGSグループの事業計画と買収によるシナジーを織り込んで改訂し、最終年度の業績目標を連結売上高2,100億円、連結営業利益210億円、海外売上高比率40%以上としました。

Q3

下半期の見通しについて
教えてください。

当期の収益確保に注力

下半期につきましては、欧州債務問題の長期化や中国経済の成長鈍化など世界経済の減速傾向に加え、日本国内でも個人消費の陰りがみられるなど、景気の

先行きは不透明な状況が続くと予想されます。厳しい経営環境下ではありますが、海外では、欧州・米州において「窓口用紙幣入出金機」の拡販を進めるとともに、成長市場であるアジアにおいては、「紙幣入金整理機」などを積極的に拡販してまいります。国内では、引き続き当社製品が未導入である市場の開拓を進めるとともに、新製品の積極的な投入による販売拡大を進めてまいります。また、生体認証技術の活用によるセキュリティ関連事業など、新たな分野の製品の販売にも注力してまいります。以上のような取組みを推進することにより、収益確保に注力してまいります。

通期の連結業績予想につきましては、GGSグループの業績及び市場動向を踏まえて当初の業績予想を上方修正し、売上高1,850億円、営業利益145億円、経常利益135億円、当期純利益75億円としております。

なお、当期の中間配当は、1株につき21円とさせていただきます。期末配当につきましても、21円(年間42円)を予定しております。

株主のみなさまにおかれましては、今後とも、なお一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

特集 『2014中期経営計画』の改訂について

当社は、本年、『長期ビジョン2018』を策定し、その実現に向けた第1段階として、本年4月からの3ヶ年を計画期間とした『2014中期経営計画』をスタートさせました。海外事業の拡大を目的に実施したTalaris Topco Limited(以下、「タラリス社」)の買収が7月に完了し、GLORY Global Solutions Ltd.(以下、「GGS」)の子会社となったことを受けて、このたび、GGSグループの事業計画と買収によるシナジーを踏まえ、『2014中期経営計画』を改訂いたしました。

2014中期経営計画



基本方針

- 長期ビジョン達成に向けた成長戦略推進と収益力強化
- 営業利益率10%以上

経営目標

- ROE 6.0%以上

業績目標

	[改訂前]	
連結売上高	1,800億円	▶ 2,100億円
連結営業利益	180億円	▶ 210億円
海外売上高比率	30%以上	▶ 40%以上

基本戦略

事業戦略

- 国内事業戦略
- 海外事業戦略
- 新事業戦略

機能戦略

- 製品開発戦略
- 生産・調達戦略
- 品質保証戦略

企業戦略

- グループ体制戦略
- 人事戦略
- 資本・財務戦略

タラリス社買収により期待できるシナジー



- 高い製品開発力
- 高品質・幅広い製品ラインナップ
- 充実した開発・製造体制

- 高いソリューション提案力とマーケティング力
- 広い直販・直メンテナンス網
- 欧米での組織力

1. 両社グループの強みの融合による事業競争力の強化

グローリーグループの高い製品開発力、高品質、幅広い製品ラインナップと、タラリスグループの持つ高いソリューション提案力、マーケティング力を組み合わせることで、事業競争力を向上

2. 顧客基盤の強化と活用

世界20ヶ国以上に拠点を展開し、販売及びメンテナンスをグループで行っているタラリスグループのネットワークが加わり、顧客基盤を強化

3. グローバルマネジメント体制の構築

人材や組織の面におけるさらなるグローバル化が実現

>>> 海外事業戦略の改訂について

このたびの改訂では、事業戦略を「One GLORY」の早期実現によるシナジー創出、「直販・直メンテナンス網を活用したグローバルな製品展開」と改めました。海外事業において、グローリーグループが一体となり、買収によるシナジーを発揮することで事業のグローバル展開を加速し、売上高・利益の一層の拡大を図ります。具体的には、3つの機

能強化戦略を推進してまいります。

まず、「地域別事業体制の構築による販売・保守網の強化」です。タラリス社の買収により拡大した直販・直メンテナンス網の活用と地域単位の事業管理体制の構築により、地域ごと・市場ごとのニーズを捉えた製品展開とメンテナンス体制の充実を図ります。

次に、「システムソリューション力の強化による営業力強化」です。お客さまのビジネスに最適なシステムを提案する

営業体制の強化に注力してまいります。

3つ目は、「開発・生産機能の効率化によるコスト競争力の向上」です。開発テーマの統一による開発効率の向上、生産体制の最適化やグローバルな部材調達の実現に取り組み、コストシナジーの創出を実現してまいります。これらの取組みにより、平成26年度には海外売上高900億円(海外売上高比率40%以上)を目指してまいります。

【改訂前】

【事業戦略】

新興国の攻略と
海外事業の収益モデル確立

【機能強化戦略】

- 欧・米・アジアの3極体制の構築
- 直販・直メンテナンス地域の拡大
- 代理店販売の強化

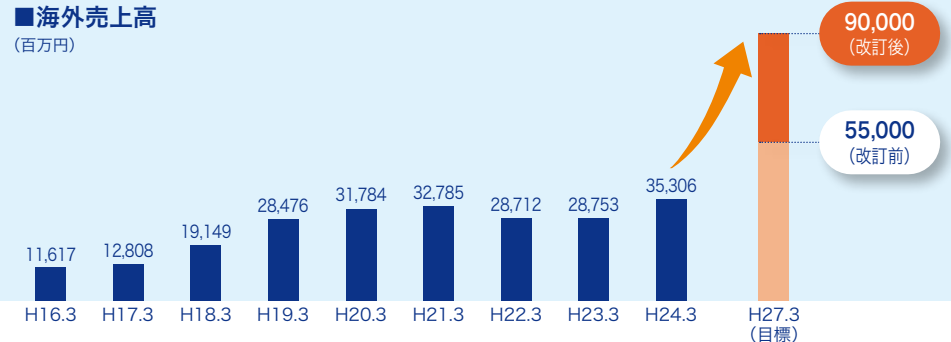
【事業戦略】

“One GLORY”の早期実現によるシナジー創出
直販・直メンテナンス網を活用したグローバルな製品展開

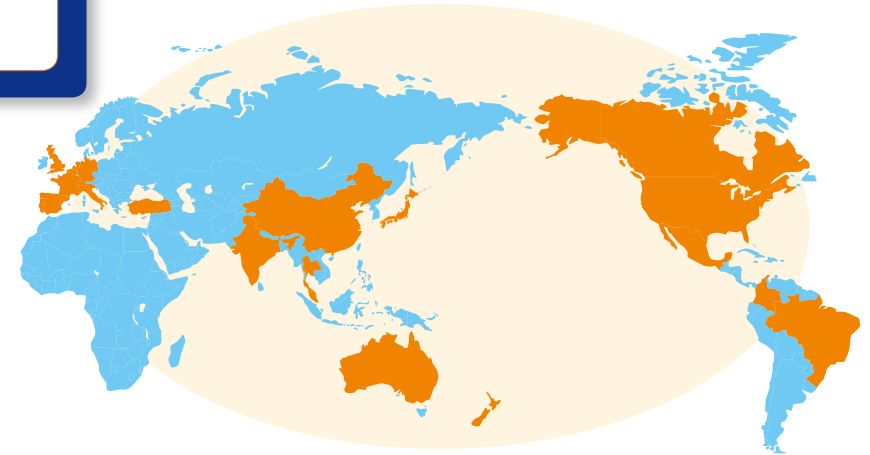
【機能強化戦略】

- 地域別事業体制の構築による販売・保守網の強化
- システムソリューション力の強化による営業力強化
- 開発・生産機能の効率化によるコスト競争力の向上

■ 海外売上高
(百万円)



タラリス社買収後の直販・直メンテナンス網



■ グローリーグループの直販・直メンテナンス展開国

Talaris Topco Limitedについて

平成24年7月に、英国Talaris Topco Limitedと
その子会社32社がグローリーグループに加わりました。

Talaris Topco Limited(以下、「タラリス社」)は、イギリス南東部の都市、ベージングストーク市に本社を置きます。同社は、平成20年(2008年)、200年の伝統を誇る英国デラルー社の貨幣処理機部門が分社化した会社で、世界初の硬貨支払機やATMを始め、数々の製品を開発、世界中に販売しています。さらに、欧米やアジアを中心とした20ヶ国以上で、自社による販売・メンテナンスを展開。現地に根ざしたマーケティングを行い、お客さまごとに最適な仕組みを提案する高いソリューション提案力は、市場から高い評価を得ています。

当社は、本年7月に子会社であるGLORY Global Solutions Ltd.を通してタラリス社の買収を完了し、タラリスグループがグローリーグループに加わりました。

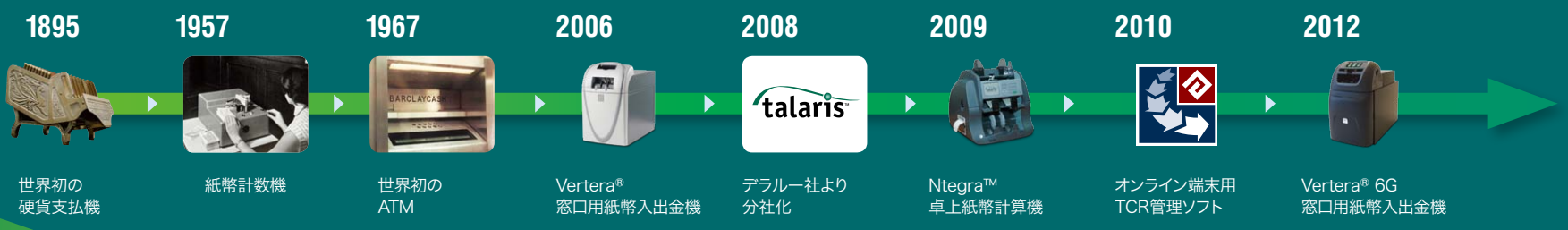


社名の由来
ギリシャ神話に登場する黄金の翼の生えた魔法のサンダル“talaria”から。
(写真は同社のtalariaオブジェ)

タラリス社の歴史

同社は、前身であるデラルー社の時代に、世界初の硬貨支払機、ATMを始めとする数々の製品を世に送りだしています。

HISTORY





GLORY Global Solutions Ltd.のExecutive Chairman(執行役会長)に、タラリス社のTim Robinson氏が就任しました。



Tim Robinson
Executive Chairman(執行役会長)

ごあいさつ

タラリス社は、創業以来、世界に通用するサービスと高品質な製品・ソリューションを提供し、お客さまのビジネスを支えてまいりました。

グローリーの優れた技術と、タラリス社の高度なソリューション提案力・マーケティング力が組み合わさることで、世界中でビジネスを拡大していけるでしょう。その実現には、グローバルマインドを取り入れながらも地域を重視した戦略を着実に実行することが重要です。そして、その結果が収益性の向上と企業価値の最大化につながると考えております。

私たちは、成長に向けて新たなステージに立ったグローリーグループの一員として共に働くことをとても誇りに感じるとともに、グループがさらなる成長を遂げると確信しております。



研究開発部門



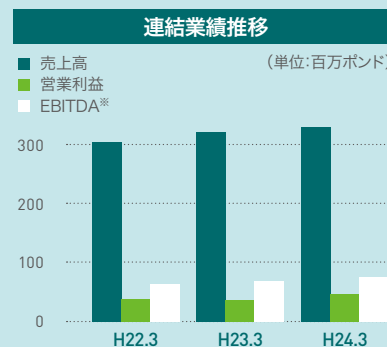
展示会



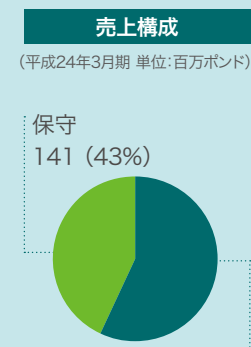
ショールーム(フランス)



会社名	GLORY Global Solutions Ltd.
本店所在地	英国 ベージングストーク市
設立	平成24年2月
代表者	Tim Robinson Executive Chairman(執行役会長)
従業員数	約1,900名(グループ)



* EBITDA=利払い前・税引前・償却前利益。国によって異なる税務や会計基準等の差が与える影響を排除し国際的な収益力を比較する指標



主要製品

Vertera® 6G
窓口用紙幣入出金機

EV8650®
紙幣整理機

業界初の機能を搭載 さらなる省人化と スピード開票を実現

3つの
業界初

新型投票用紙分類機(GTS-1000)を開発

国政・地方選挙では、速やかな開票結果の公表が求められています。一方で、膨大な量の投票用紙の向きを揃える、仕分けるなどの開票作業を迅速に行うには多くの人手が必要です。これらの課題を解決するために、投票用紙を高速で読み取り、分類する投票用紙分類機を導入する自治体が増えています。

こうした背景の中、本年10月、当社は従来品の機能をアップさせた〈GTS-1000〉を開発しました*。

*2013年4月発売予定



開発リーダーの声

〈GTS-1000〉は、開票作業の“省人化”と“スピードアップ”への強いニーズに応えるため、業界初の3つの機能を搭載しました。中でも、“表裏反転／天地揃え”は、紙幣整理機の開発で培った、当社ならではの技術です。この機能を搭載することで、これまで人の手でなっていた作業を機械で行うことができ、開票作業の人員削減と飛躍的な効率化を実現します。

開発本部
第三開発統括部 設計二部
テーマリーダー
三輪 正和

①投票用紙の表裏反転／天地揃え機能

表裏反転



天地揃え



従来手作業で揃えていた投票用紙の表裏・天地の向きを自動で整理。作業量の削減に大きく貢献します。



②スタッカ^{※1}を最大65段^{※2}まで増設可能

候補者64人以下の選挙なら、1台で投票用紙を全ての候補者に仕分けることができます。

※1 分類された投票用紙の取り出し口

※2 うち1つはリジェクト用

③他事記載^{※3}がないか両面チェック

投票用紙の両面を読み取り、他事記載がないか自動で判別し、分類。目視による確認作業の負担を軽減します。

※3 投票用紙に書かれた、候補者の名前以外の事項
他事記載のある投票用紙は無効票となる

日本の新たなランドマーク、 東京スカイツリータウン®で グローリー製品が活躍しています

平成24年5月にオープンした東京スカイツリータウン®は、
東京スカイツリー®を中心に様々な施設が集まる「タワーのある街」。
この街のあちこちでグローリー製品が活躍しています。

とうきょうスカイツリー駅

改札前にコインロッカーが導入されています。



ICカード対応ターミナルロッカー
<LTH-100>

すみだ水族館

入場券を購入するチケットカウンターにレジつり銭機が導入されています。

硬貨・紙幣レジつり銭機
<RT-200><RAD-200>

東京スカイツリー®

展望スペース「天望デッキ」
「天望回廊」の入場券を購入するチケットカウンターにレジつり銭機が導入されています。



硬貨・紙幣レジつり銭機
<RT-200><RAD-200>

東京ソラマチ®

300を超える店舗が出店する商業施設。施設全体の売上金の管理に売上金入金機、つり銭の準備に多能式両替機が使われています。



売上金入金機
<DS-710>

セグメント別の状況

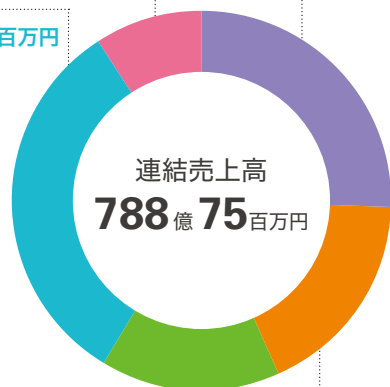
(各期:4月1日~9月30日)

その他

71億58百万円
(9.1%)

海外市場

253億93百万円
(32.2%)



遊技市場

120億5百万円
(15.2%)

金融市場

204億円
(25.9%)

流通・交通市場

139億17百万円
(17.6%)

* ()内数値は構成比

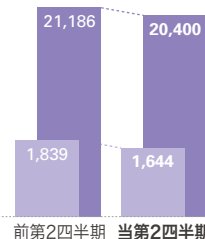
金融市場

■ 売上高 **20,400** 百万円

前年同期比 **-3.7%** ↓

■ 営業利益 **1,644** 百万円

前年同期比 **-10.6%** ↓



主な販売先

国内の金融機関、日本郵政、OEM先

従来タイプの「オープン出納システム」の販売が低調

主要製品であるオープン出納システムの販売は、中小規模店舗向けのコンパクトタイプは堅調であったものの、従来タイプが低調でありました。また、多能式紙幣両替機の販売は、更新需要を捉え順調であり、市場全体としては前年同期並みの販売でありました。

多能式紙幣両替機
<EN-700>



利用者と運用者、双方の使いやすさを追求した両替機。業界初、機内に収納した現金を自動で再計数する“フル自動精査”機能を搭載しています。

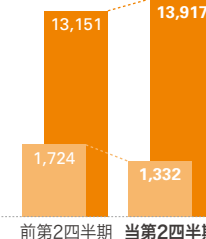
流通・交通市場

■ 売上高 **13,917** 百万円

前年同期比 **+5.8%** ↑

■ 営業利益 **1,332** 百万円

前年同期比 **-22.7%** ↓



主な販売先

国内のスーパーマーケット、百貨店、警備輸送会社、鉄道会社

「売上金入金機」や「店舗入出金機」の販売が好調

主要製品であるレジつり銭機の販売は低調であったものの、警備輸送市場向けの売上金入金機や店舗入出金機の販売は好調であり、市場全体としては堅調な販売でありました。

売上金入金機
<DSS-300>



スーパーマーケットやショッピングセンターの売上金を管理する売上金入金機。主に現金輸送サービスで用いられる製品です。

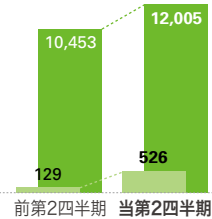
遊技市場

■ 売上高 **12,005** 百万円

前年同期比 **+14.8%** 

■ 営業利益 **526** 百万円

前年同期比 **+306.7%** 



主な販売先

国内の遊技場(パチンコホール等)

「カードシステム」の販売が順調

パチスロ人気の継続に伴い、台間メダル貸機を始めとするカードシステム等の販売は順調でありました。また、各台計数機の販売も順調でありました。



PAPIMO対応
各台計数ユニット
<JCT-110>

座ったままパチンコ玉を計数し、非接触IC対応の携帯電話で貯玉や再プレイができる各台計数ユニット。玉を運ぶ必要がなく、従業員の負担が軽減されます。

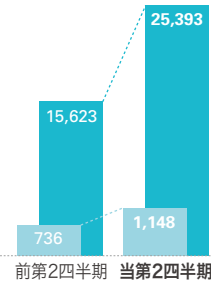
海外市場

■ 売上高 **25,393** 百万円

前年同期比 **+62.5%** 

■ 営業利益 **1,148** 百万円

前年同期比 **+56.0%** 



主な販売先

海外の金融機関、警備輸送会社、カジノ、OEM先

Talaris Topco Limitedの買収により、販売が大幅に増加

OEM商品であるATM用紙幣入金ユニットや紙幣入金整理機の販売は好調でありました。また、Talaris Topco Limitedの買収により、販売は大幅に増加いたしました。

紙幣入金整理機
<USF-50>



机の上に気軽に設置できる紙幣整理機。コンパクトながら、紙幣の真偽判別や正損選別^{*}に加え、金種混合紙幣の一括計数も可能です。

^{*}正損選別…傷んだ紙幣を仕分けること

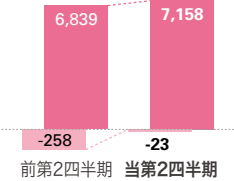
その他

■ 売上高 **7,158** 百万円

前年同期比 **+4.7%** 

■ 営業損失 **23** 百万円

前年同期は営業損失 **258** 百万円



主な販売先

国内のたばこ販売店、たばこメーカー、病院、自治体、民間企業

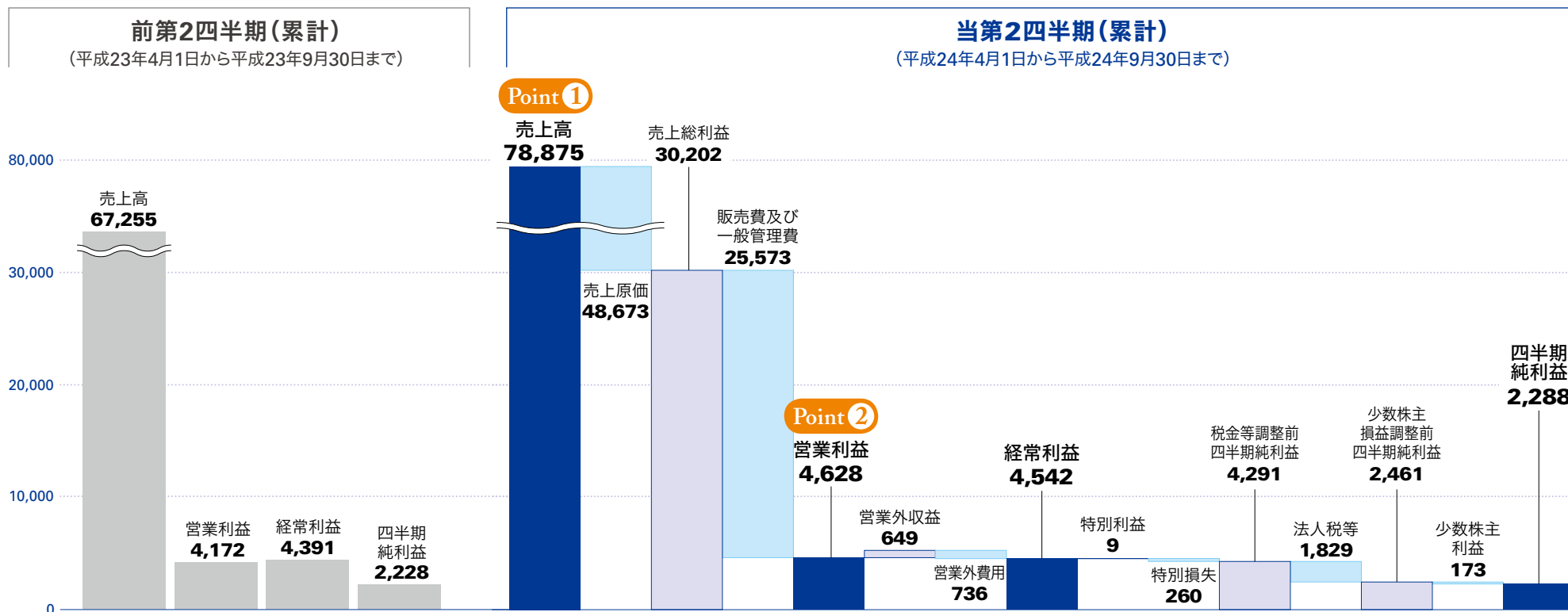
タッチパネル式券売機
<VT-T10M>



液晶画面上でボタンの大きさ、デザイン、配置を自由に設定できるタイプの券売機。最大300種類ものメニューボタンの設定が可能で、トッピングやサイドメニューなど細かい注文もできます。通信機能を備えており、券売機から離れた場所から売上データの収集や、メニューボタン変更用データの配信も行えます。

財務データ

四半期連結損益計算書の概要 (単位: 百万円)



(単位: 百万円)

前期	
(平成23年4月1日から平成24年3月31日まで)	
売上高	146,937
営業利益	11,274
経常利益	11,908
当期純利益	6,246

Point

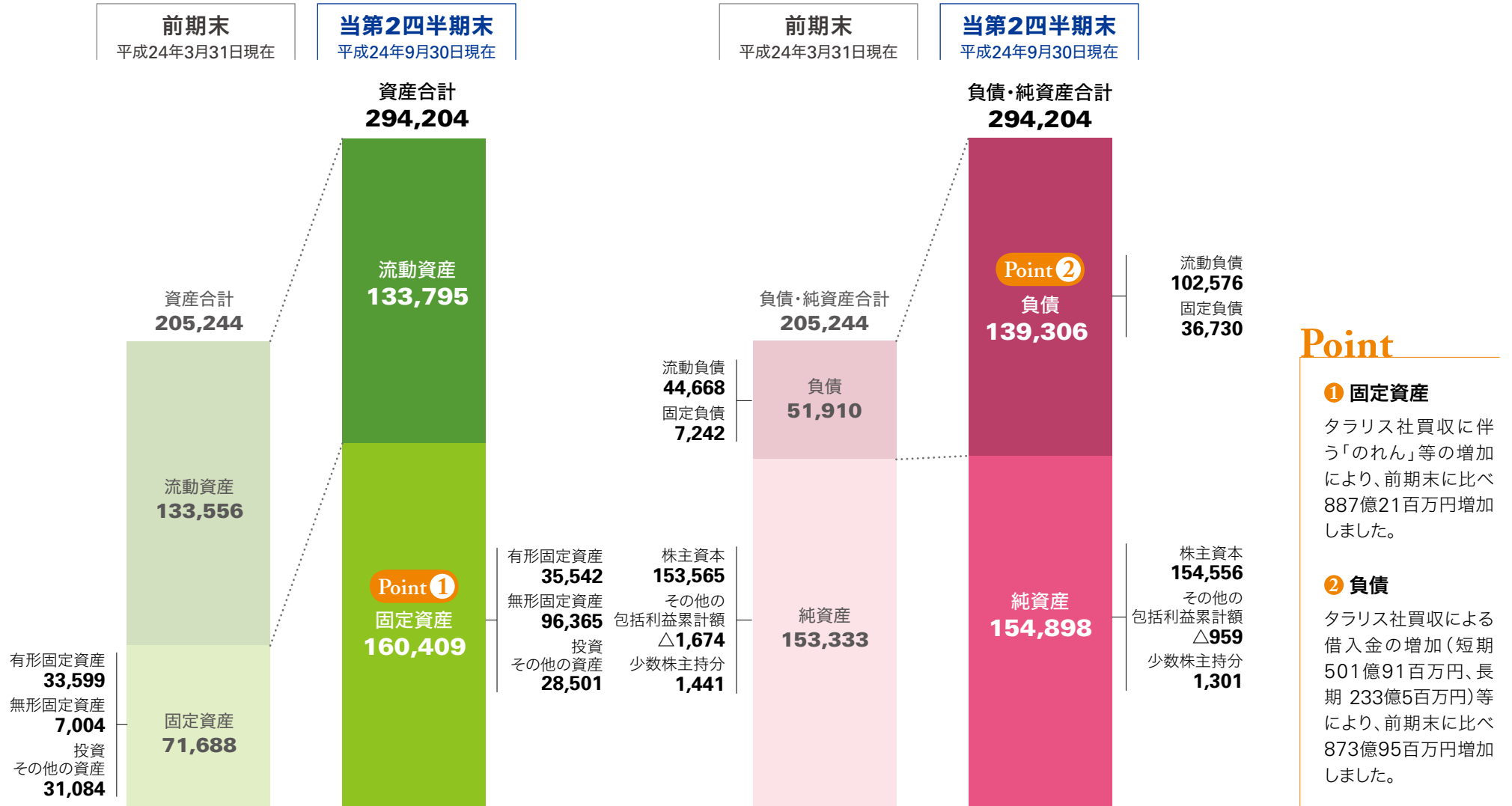
① 売上高

Talaris Topco Limited (以下、「タラリス社」) の買収効果と遊技市場の好調により、前年同期に比べ17.3%増加しました。

② 営業利益

タラリス社買収に伴う「のれん」の償却等により、販売費及び一般管理費の増加はあったものの、売上原価率の改善や売上高の増加により、前年同期に比べ10.9%増加しました。

四半期連結貸借対照表の概要 (単位: 百万円)



Point

① 固定資産

タラリス社買収に伴う「のれん」等の増加により、前期末に比べ887億21百万円増加しました。

② 負債

タラリス社買収による借入金の増加(短期501億91百万円、長期233億5百万円)等により、前期末に比べ873億95百万円増加しました。

会社概要 (平成24年9月30日現在)

商号	グローリー株式会社 GLORY LTD.
設立	昭和19年(1944年)11月27日
資本金	12,892,947,600円
ウェブサイト	http://www.glory.co.jp
従業員数	3,415名(連結 7,898名)

事業所

本社・本社工場	〒670-8567 兵庫県姫路市下手野一丁目3番1号 TEL: 079(297) 3131(代表) FAX: 079(294) 6233
東京本部	〒101-8977 東京都千代田区外神田四丁目14番1号 秋葉原UDX TEL: 03(5207) 3100
品川事業所	〒141-8581 東京都品川区大崎五丁目4番6号 TEL: 03(3495) 6301
埼玉工場	〒347-0004 埼玉県加須市古川二丁目4番地1 TEL: 0480(68) 4661
支店等	7支店: 東北支店(仙台)、東日本支店(さいたま)、 首都圏支店(東京)、東海支店(名古屋)、 近畿支店(大阪)、中四国支店(広島)、 九州支店(福岡) 姫路物流センター・姫路パーツセンター 41営業所・27出張所・3サービスセンター

役員一覧

取締役

代表取締役会長	西野秀人
代表取締役社長	尾上広和
取締役相談役	尾上壽男
取締役	一谷昌弘
取締役	石堂知明
取締役	山口義行
取締役	三和元純
社外取締役	佐々木宏機
社外取締役	新島昭

監査役

常勤監査役	中塚良幸
常勤監査役	大谷俊彦
社外監査役	竹田佑一
社外監査役	中上幹雄

執行役員

専務執行役員	一谷昌弘	上席執行役員	廣田泉海
専務執行役員	西武宣	上席執行役員	村上生
専務執行役員	田中修	上席執行役員	三井史
常務執行役員	松下秀明	上席執行役員	尾上和英
常務執行役員	石堂知明	上席執行役員	三和元純
常務執行役員	太田幸一	執行役員	馬関野博
常務執行役員	吉岡徹	執行役員	福井明
常務執行役員	山口義行	執行役員	渋谷孝
		執行役員	井路義
		執行役員	藤井正
		執行役員	小谷要
		執行役員	馬場哲
		執行役員	清水弥
		執行役員	原田明浩

グループ会社

国内開発・製造系（計5社）

- グローリープロダクツ株式会社
- グローリーAZシステム株式会社
- グローリーシステムクリエイト株式会社
- グローリーフレンドリー株式会社
- グローリーメカトロニクス株式会社

●印は連結子会社

国内販売・保守系（計8社）

- グローリーサービス株式会社 *1
- 北海道グローリー株式会社
- グローリーIST株式会社
- グローリーナスカ株式会社
- 株式会社グローリーテクノ24
- グローリーエンジニアリング株式会社
- 株式会社日本決済情報センター

他1社

海外現地法人（計47社）

- GLORY (U.S.A.) INC.
- GLORY Europe GmbH
- Standardwerk Eugen Reis GmbH
- GLORY France
- GLORY MONEY HANDLING MACHINES PTE LTD
- 光栄電子工業(蘇州)有限公司
- 光栄国際貿易(上海)有限公司
- Sitrade Italia S.p.A.
- GLORY Global Solutions Ltd. *2
- Talaris Topco Limited *2
- Talaris Midco Limited *2
- Talaris Holdings Limited *2
- Talaris Limited *2
- Talaris Inc. *2

GLORY (PHILIPPINES), INC.

GLORY Cash Handling Systems (China) Ltd.

GLORY IPO Asia Ltd.

光栄華南貿易(深圳)有限公司

GLORY Currency Automation India Pvt. Ltd. 他28社

*1 グローリーサービス株式会社は、当社の子会社であったグローリーF&C株式会社を平成24年4月1日付で吸収合併いたしました。

*2 当社は、GLORY Global Solutions Ltd.を通して、平成24年7月10日付でTalaris Topco Limitedの株式を取得し、当第2四半期累計期間よりGLORY Global Solution Ltd. 及びその子会社計33社は連結子会社となりました。
なお、GLORY Global Solutions Ltd.は、同社の株式取得を目的とし設立された当社の連結子会社であります。

株式の状況（平成24年9月30日現在）

発行可能株式総数 150,000,000株

発行済株式の総数 68,638,210株(自己株式 2,950,578株を含む)

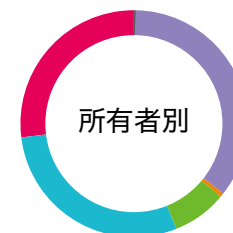
株主数 7,644名(前期末比 234名減)

大株主

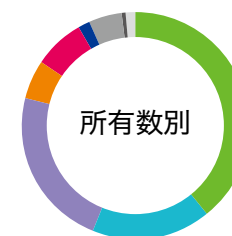
株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505223	4,739	6.9
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	3,637	5.3
日本生命保険相互会社	3,427	5.0
株式会社三井住友銀行	2,100	3.1
JP MORGAN CHASE BANK 385174	2,009	2.9
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,948	2.8
グローリーグループ社員持株会	1,787	2.6
全国共済農業協同組合連合会	1,622	2.4
タツボーファッション株式会社	1,500	2.2
グローリー取引先持株会	1,186	1.7

(注) 上記のほか、当社が所有している自己株式2,950,578株があります。

株式分布状況



政府・地方公共団体	0.2%
金融機関	35.6%
金融商品取引業者	0.3%
その他の法人	7.8%
外国法人等	29.3%
個人・その他	26.8%



1,000,000株以上	39.2%
500,000株以上	17.0%
100,000株以上	22.9%
50,000株以上	5.4%
10,000株以上	7.3%
5,000株以上	1.7%
1,000株以上	4.7%
500株以上	0.6%
500株未満	1.2%

株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月に開催いたします。
基準日	定時株主総会 3月31日 期末配当 3月31日 中間配当 9月30日 その他必要があるときは、あらかじめ公告して定めます。
単元株式数	100株
上場取引所	東京、大阪
証券コード	6457
公告方法	電子公告によります。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。 http://www.glory.co.jp

株主名簿管理人/ 特別口座の口座管理機関

三菱UFJ信託銀行株式会社

〔各種お問合せ先/
郵便物送付先〕

三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
TEL: 0120-094-777 (通話料無料)
受付時間 9:00~17:00(土、日、祝祭日、年末年始を除く)

〔ホームページアドレス〕

<http://www.tr.mufg.jp/daikou/>

(ご注意)

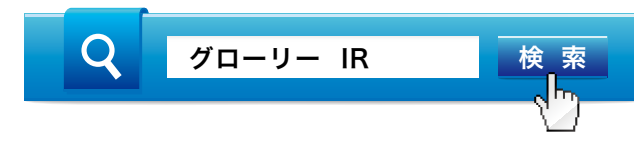
1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店でもお取り扱いいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

「株主・投資家の皆さまへ」のページが 新しくなりました。

平成24年10月、当社ウェブサイトの「株主・投資家の皆さまへ」ページのデザインを一新しました。
是非ご覧ください。



<http://www.glory.co.jp/ir/>



地球環境保護のためにFSC認証紙と大豆油インキを使用しています。